

*alfresa*group

16-18 中期経営計画

— 明日への躍進 —

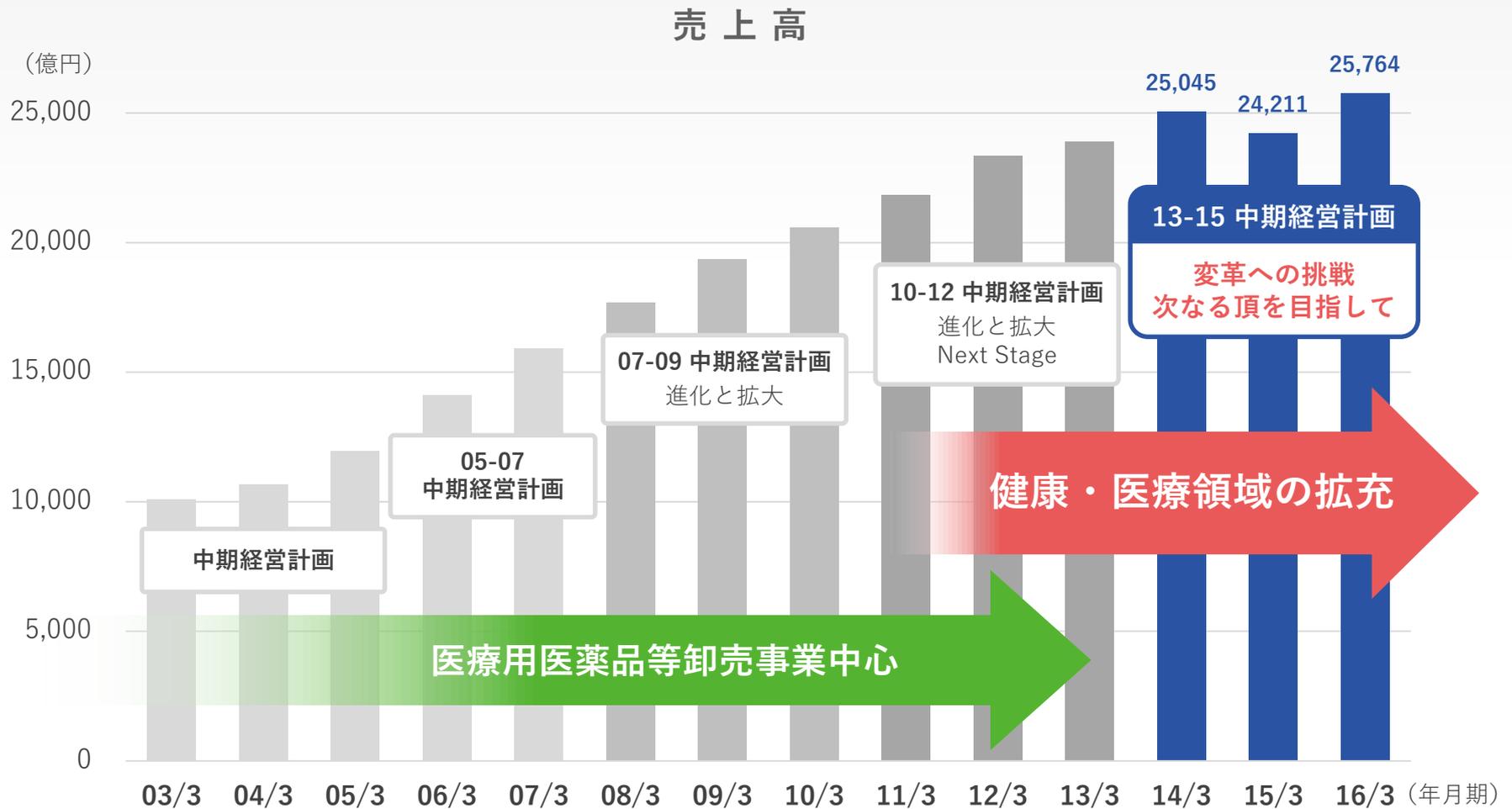
2016年5月12日

アルフレッサホールディングス株式会社

I . 13-15 中期経営計画 総括



事業拡大の変遷



主な取り組みと成果

13-15
中期経営計画

変革への挑戦
次なる頂を
目指して

健康・医療領域
の拡充

医療用医薬品等 卸売事業

スペシャリティ医薬品等流通の「エス・エム・ディ」設立
「ティーエスアルフレッサ」設立(事業統合)
アルフレッサとアルフレッサ日建産業を事業統合 (2016年4月)
九州エリアの事業統合 (2016年7月予定)
アルフレッサとシーエス薬品を事業統合 (2016年10月予定)
診断薬卸売の「アルフレッサ篠原化学」を完全子会社化

セルフメディケーション 卸売事業

「茂木薬品商会」を完全子会社化

医薬品等製造事業

医薬品原薬の「アルフレッサ ファインケミカル」を完全子会社化
製造受託の「サンノーバ」を完全子会社化 (2016年4月)

医療関連事業

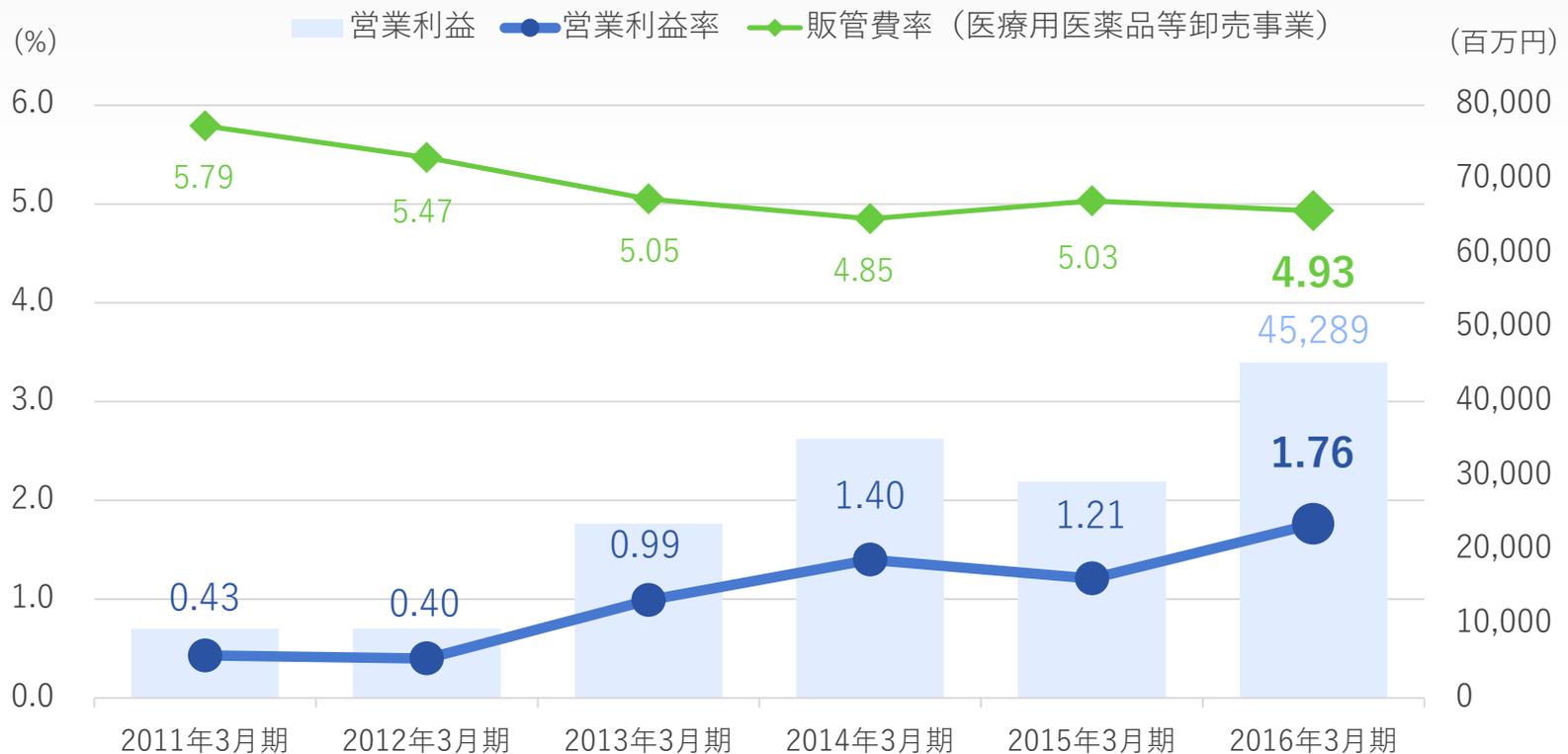
「日本アポック」を子会社化

海外事業

合併会社「Alfresa Codupha Healthcare Vietnam Co., Ltd.」設立
合併会社「遼寧康心美商業連鎖有限公司」設立
JICA民間技術普及促進事業の契約締結

事業基盤強化に向けた取り組み

流通改革やローコスト経営の取り組み等により営業利益率は改善



グループ経営目標に対する成果

	目 標		2016年3月期実績
売上高	2兆6,000億円	》	2兆5,764億円
営業利益率	1.0%以上	》	1.76%
当期純利益率*	0.8%以上	》	1.36%
配 当	DOE : 2.0%を目処	》	DOE : 2.0%

*親会社株主に帰属する当期純利益率

16-18 中期経営計画

II. グループ経営方針

- 我々を取り巻く環境変化
- グループ経営方針
- グループ経営目標

■ 我々を取り巻く環境変化

医療用医薬品等卸売事業の 収益性低下リスク



新たな環境変化



我々に必要な対応

グループ全体での
収益向上

事業領域の拡大

事業モデル変革

“ Challenge 3 ”

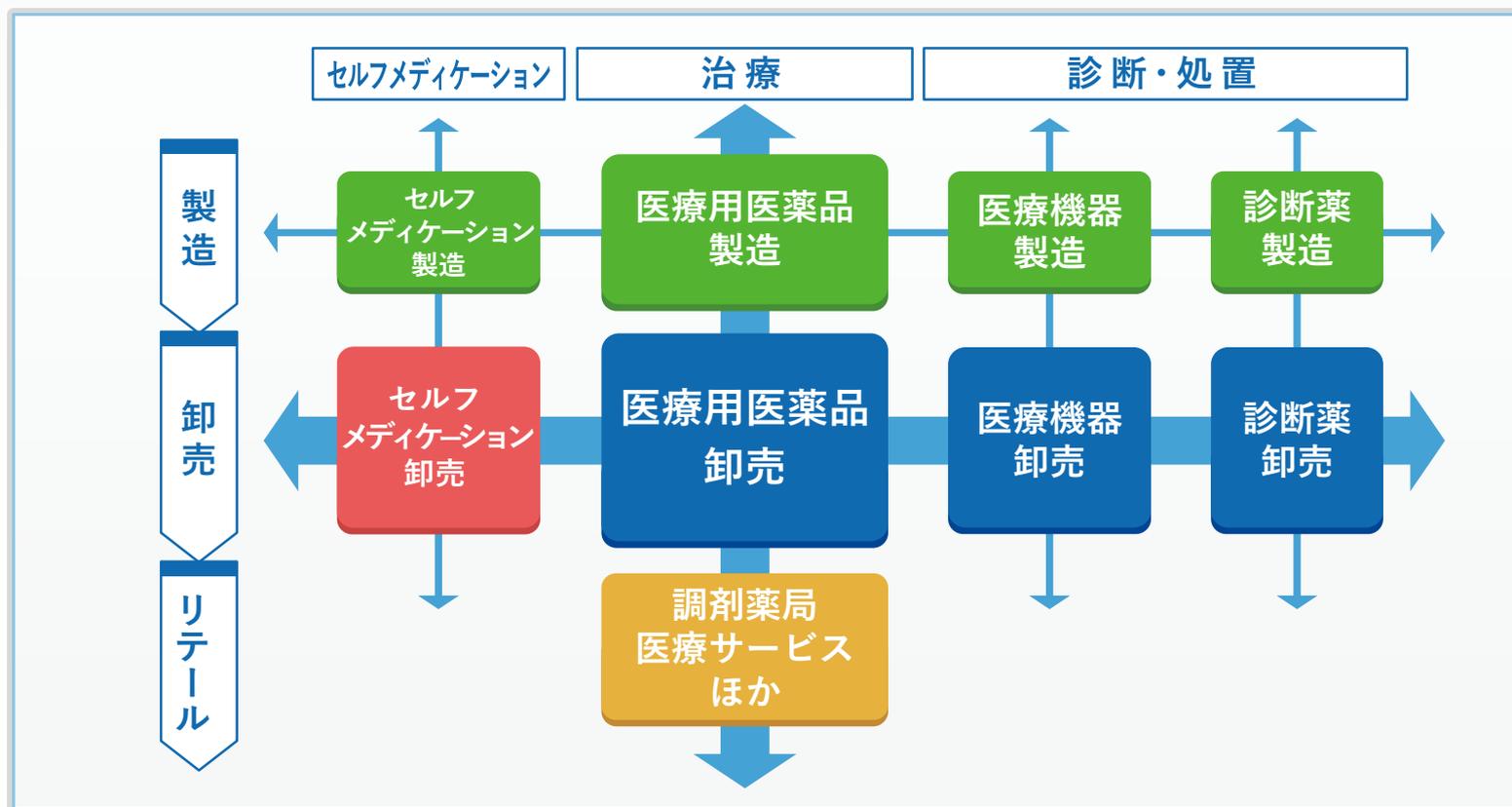
① グループ一体となった事業強化

② 健康・医療関連領域の拡充

③ 環境変化に先駆けた事業モデルの変革

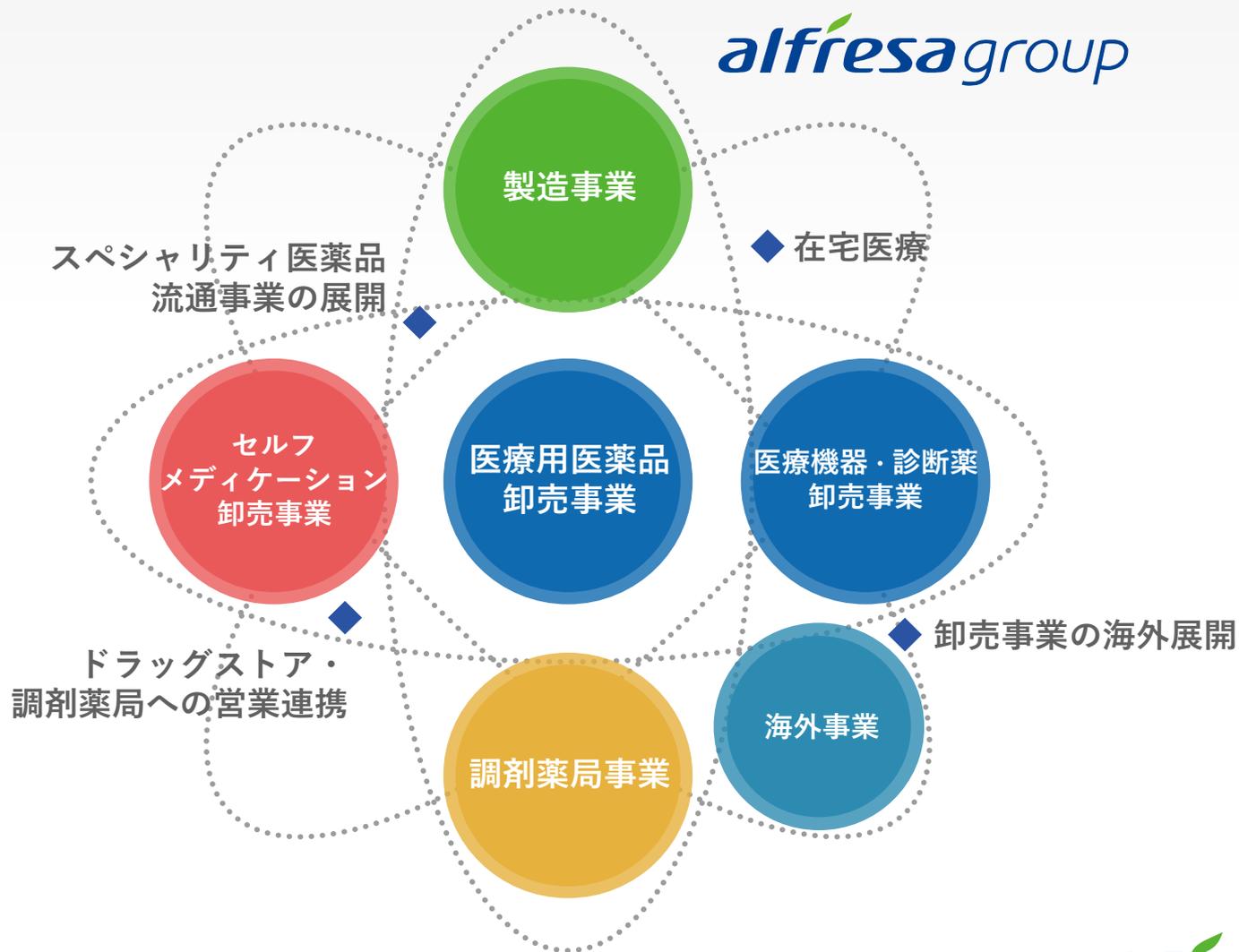
■ ヘルスケアコンソーシアムの実現

健康に関するあらゆる分野の商品・サービスを提供できる
ヘルスケアコンソーシアムをめざします

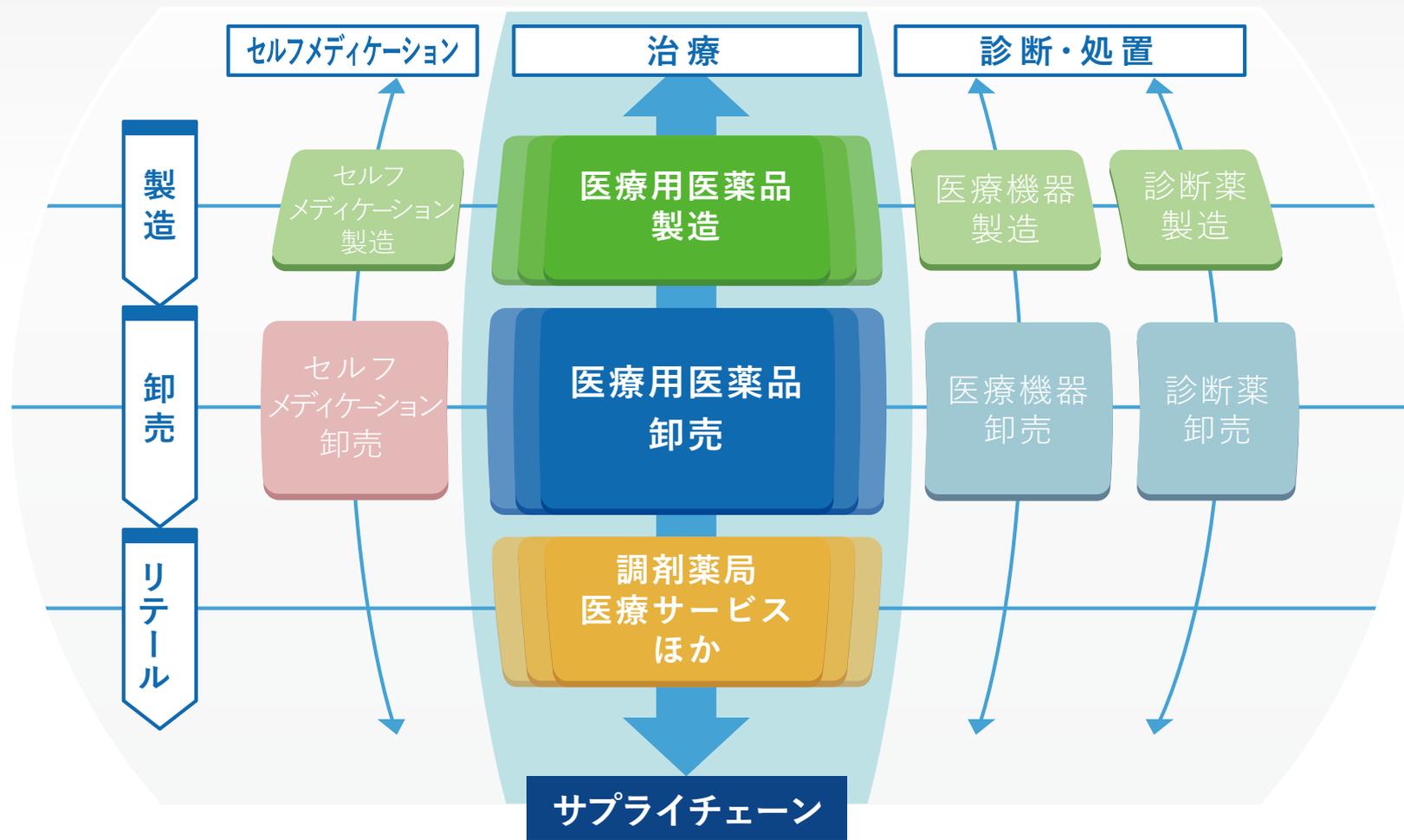


1 グループ一体となった事業強化

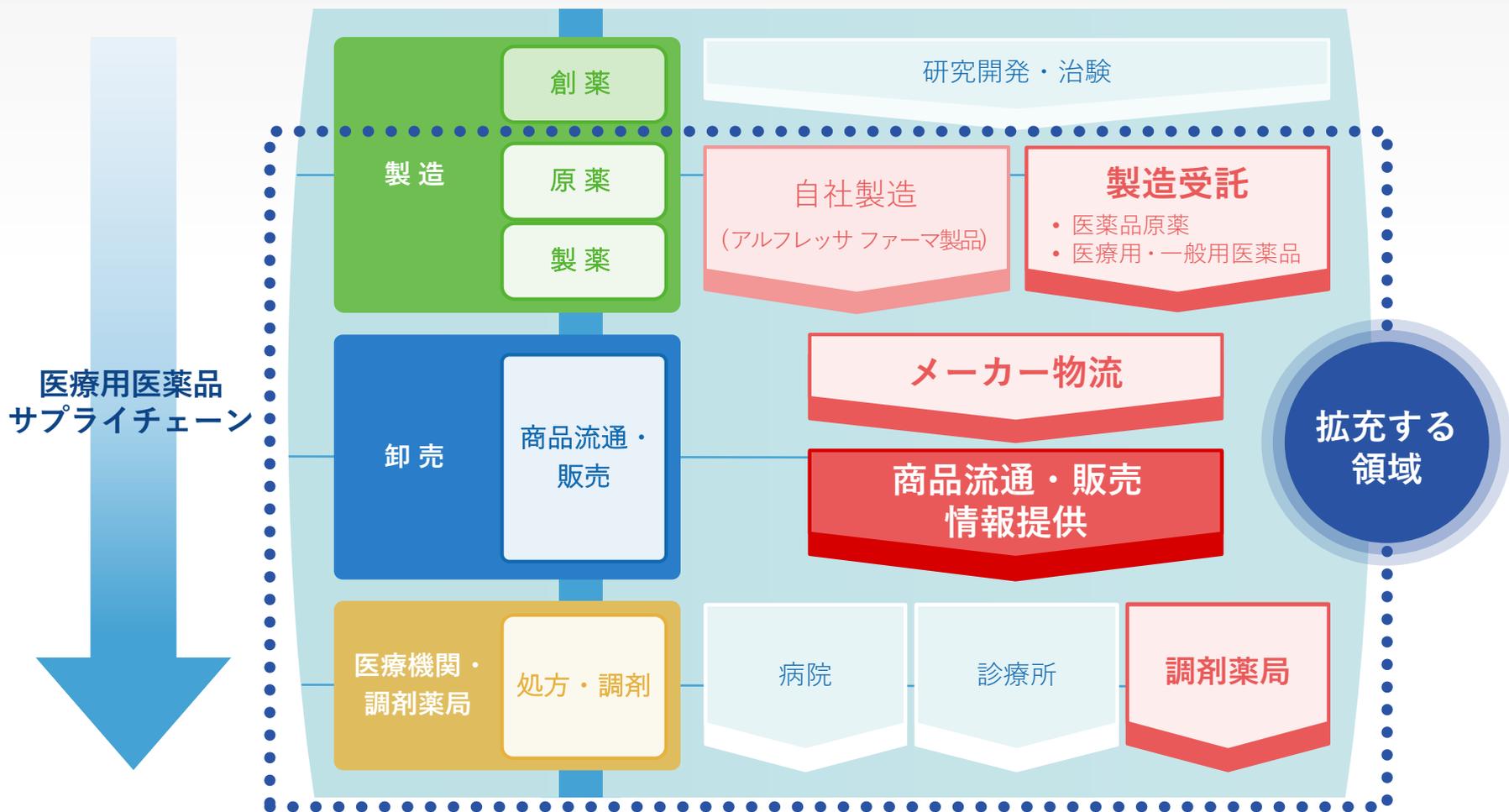
アルフレッサグループ ブランドの浸透



医療用医薬品サプライチェーンを強化



我々が取り組む事業領域



セグメント別の重点施策

医療用 医薬品等 卸売事業

- 営業改革・物流改革
- グループ全体最適の追求
- 流通改革の推進



セルフ メディケーション 卸売事業

- さらなる事業基盤の強化
- 付加価値営業の強化



医薬品等 製造事業

- 製造受託・医薬品原薬事業の推進
- 製品ラインナップの拡充と販売力強化



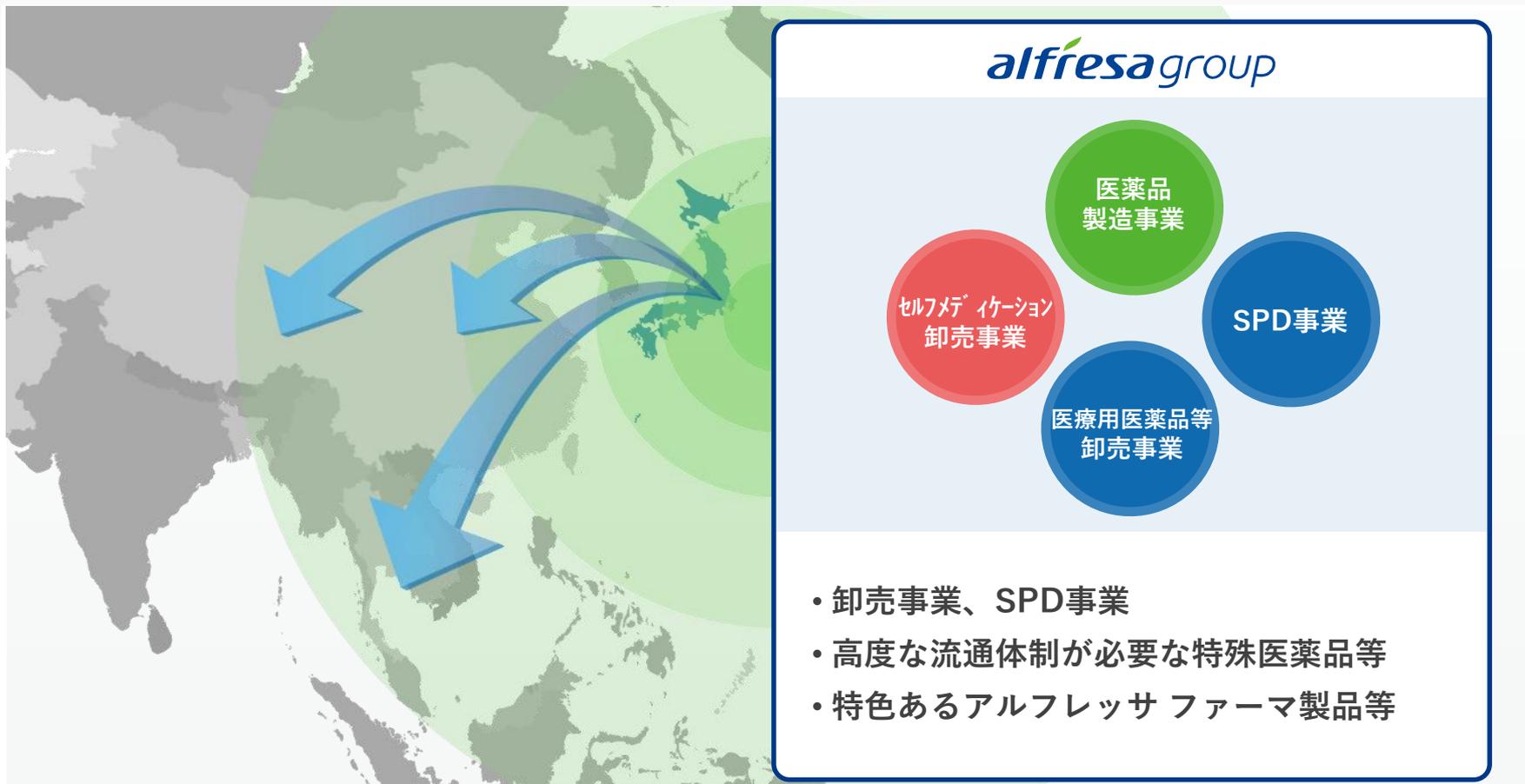
医療関連 事業

- 業態変化への取り組み
— 立地から機能への転換 —



アジアを中心とした事業拡大

国内の強い事業モデルで培ったノウハウを梃子に展開



■ 16-18 中期経営計画 グループ経営目標

売上高	2兆7,000億円
営業利益率	1.5%以上
当期純利益率*	1.2%以上
投資計画	累計 1,000億円規模
ROE	8%水準
株主還元方針	DOE 2.0%以上

*親会社株主に帰属する当期純利益率

16-18 中期経営計画

Ⅲ. セグメント別方針

- 医療用医薬品等卸売事業
- セルフメディケーション卸売事業
- 医薬品等製造事業
- 医療関連事業

■ 医療用医薬品等卸売事業

医療用医薬品No.1卸として、変化に先駆けた収益構造の強化

① 営業改革・物流改革

- お得意様特性に応じた営業機能の改革
- 地域包括ケアシステムへの取り組み
- さらなる営業物流の効率化
- スペシャリティ医薬品流通の対応強化

② グループ全体最適の追求

- 全国物流を視野に入れた物流拠点の最適化
- カスタマーサポートの全国展開の推進

③ 流通改革の推進

【2019年3月期目標】

売上高
2兆4,000
億円

営業利益率
1.5%

投資計画（累計）
420億円

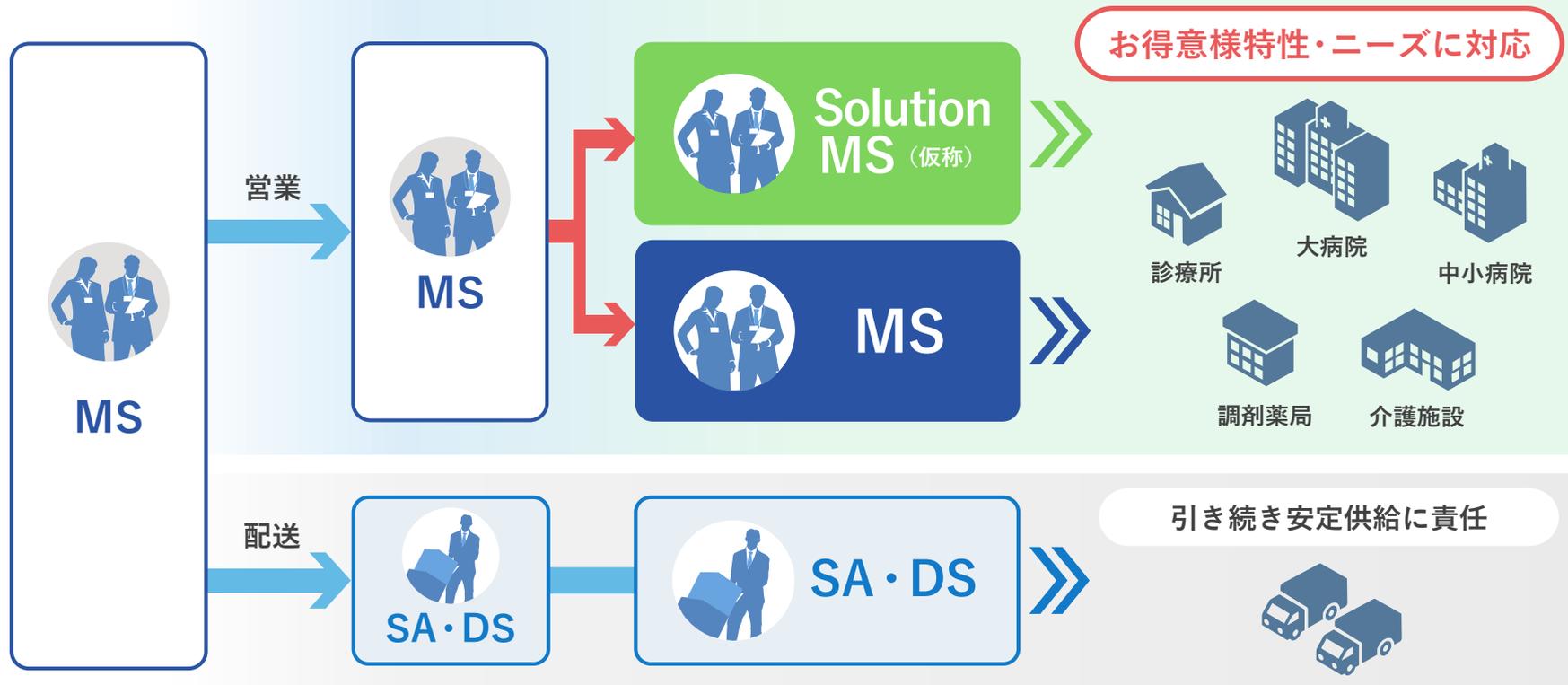
■ お得意様特性に応じた営業機能の改革

医薬分業の進展

地域医療構想・地域包括ケアシステムの推進

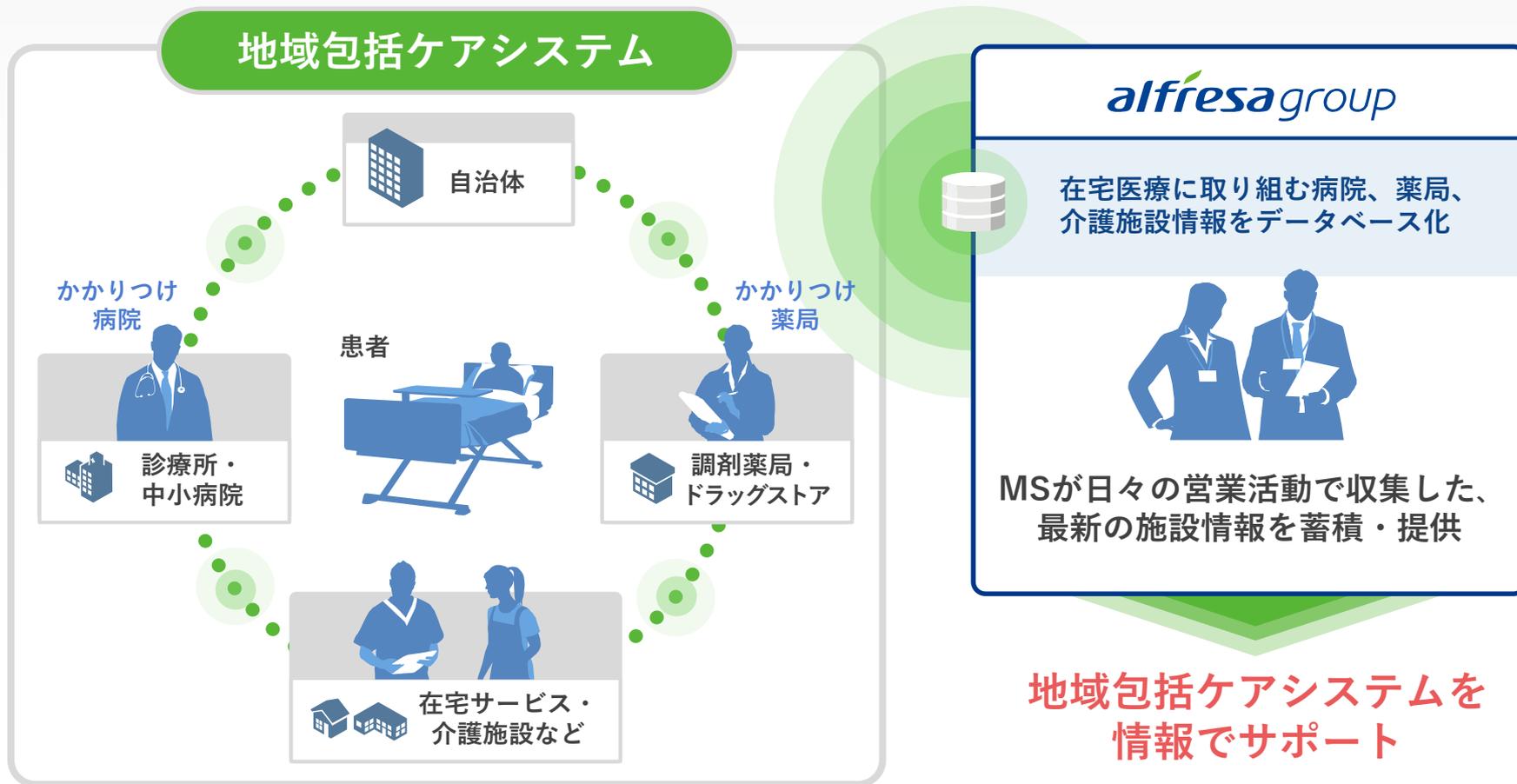
商物分離

MS機能改革



■ 地域包括ケアシステムへの取り組み

全国の医療機関・調剤薬局・介護施設を繋ぐ役割を担う



■ さらなる営業物流の効率化

コスト削減効果

① ダイレクト配送	物流センターから、お客様に直接配送	
② スルー配送	物流センターで荷揃えをし、支店等を経由して、お客様に配送	
③ パッケージ納品	物流センターでお客様の要望に合わせて商品を仕分けし、オリコンに詰めてお客様に配送（お客様での検品不要）	
④ 配送の外部委託化	SA・DS業務を配送業者に一部委託	

■ スペシャルティ医薬品流通の対応強化

医薬品メーカー



■ スペシャルティ医薬品流通事業

スペシャルティ医薬品流通会社

エス・エム・ディ株式会社



*alfresa*group

出資企業

アルフレッサ (60%)

富田薬品 (20%)

モロオ (20%)

■ 全国販売ネットワーク

アルフレッサグループの医療用医薬品卸売会社8社に、提携企業の富田薬品(株)、(株)モロオを加え、北海道から九州まで日本全国の流通をカバー

■ 高い輸送技術

高度温度管理物流などにより、スペシャルティ医薬品の流通を担う

■ 全国物流を視野に入れた物流拠点の最適化

現在の物流拠点

- 18物流センター
- 5医薬品センター



16-18 中計の施策

- 1 機能の再評価
- 2 高度化
- 3 効率化

最適化

■ カスタマーサポートの全国展開の推進

お客様へのトータルサポートを通じ、流通在庫の最適化を目指す

医療機関・調剤薬局

- 品切れの防止、在庫の効率化
- 調剤過誤の防止
- 薬剤師のフロント業務への専念
- 増患対策
- 病院機能評価の獲得



1

お客様の業務をトータルサポート

- 院内物流管理支援 (SPD)
- 在庫管理支援
- 服薬指導支援
- コンサルティング支援など

alfresa group

2

- 在庫の最適化
- 定時ルート配送の実現
- MSによる営業活動の効率化

3

グループ全体の
営業・物流を最適化

■ セルフメディケーション卸売事業

事業基盤の強化。商品力、販売力の強化による他社との差別化

① さらなる事業基盤の強化

- 物流を起点とした全社改革
- 利益管理のさらなる強化

② 付加価値営業の強化

- 専売商品の発掘、育成
- 調剤薬局への販売強化
(グループ医療用医薬品卸売会社との連携)
- ネット販売拡大への対応強化

【2019年3月期目標】

売上高

2,450億円

営業利益率

0.4%

投資計画(累計)

10億円

■ 付加価値営業の強化



*セルフプリベンション：介護状態にならないための自己管理

■ 医薬品等製造事業

事業拡大に向けた生産体制の強化と戦略投資

① 安心・安全・誠実なモノづくりの推進

- ・薬機法、PIC/S GMP基準への対応
- ・生産能力、品質管理のさらなる強化

② 製造受託・医薬品原薬事業の推進

- ・アルフレッサファーマとサンノーバとの営業連携・技術交流の推進
- ・新規医薬品原薬製品の開発・販売強化
- ・戦略投資の拡大

③ 製品ラインナップの拡充と販売力強化

- ・成長領域におけるアルフレッサファーマ製品のラインナップ拡充
- ・グループ医療用医薬品卸売会社との販売連携

④ 海外事業の拡充

- ・アルフレッサファーマ製品の海外販売の強化

【2019年3月期目標】

売上高

440億円

営業利益率

7.7%

投資計画（累計）

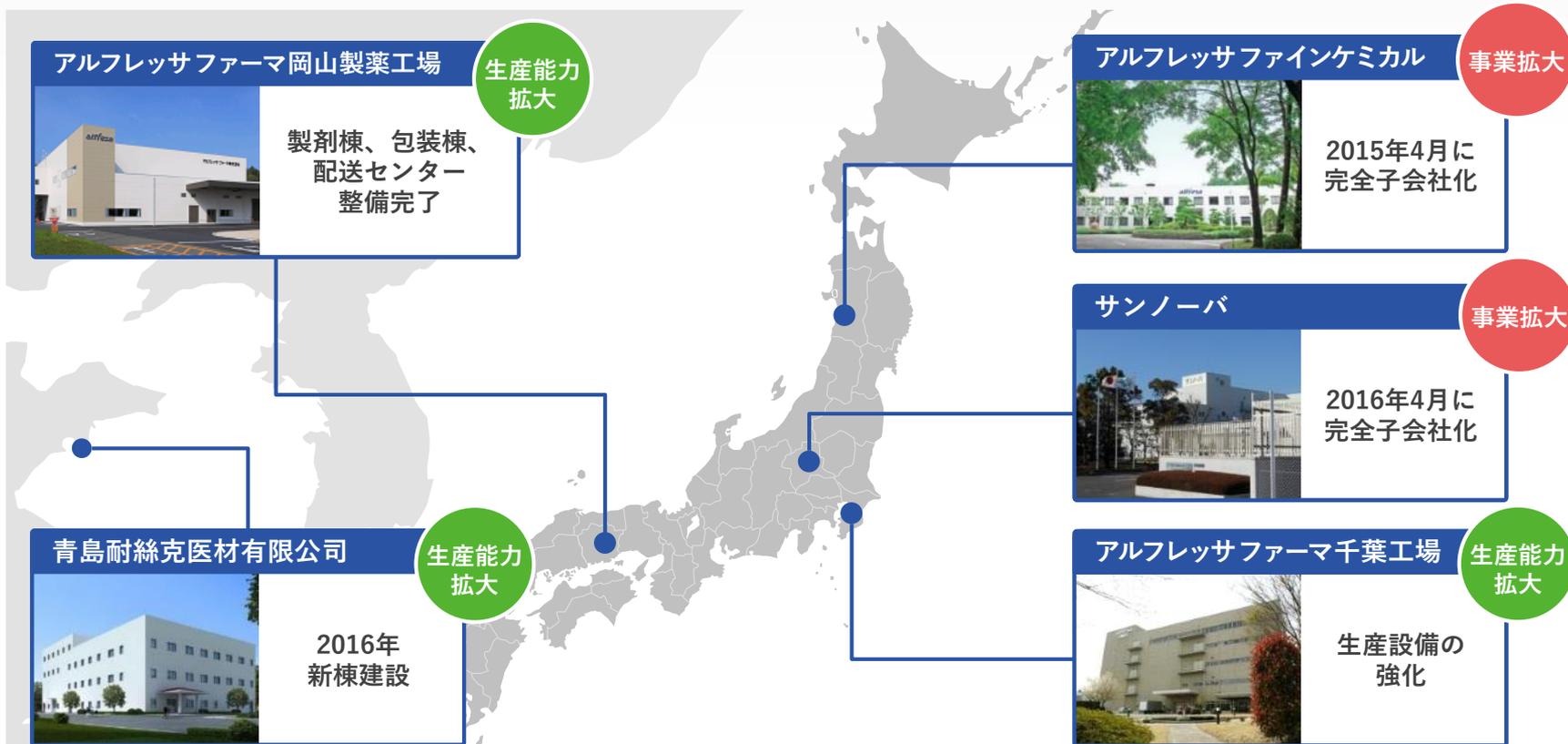
120億円

■ 事業拡大に向けた生産体制の拡充

- ・ 製造受託、医薬品原薬を中心に事業拡大
- ・ 生産能力拡大に向けた拠点拡充と設備投資

2019年3月期売上高伸び率

約**140**% (2016年3月期比)



■ 医療関連事業（調剤薬局事業）

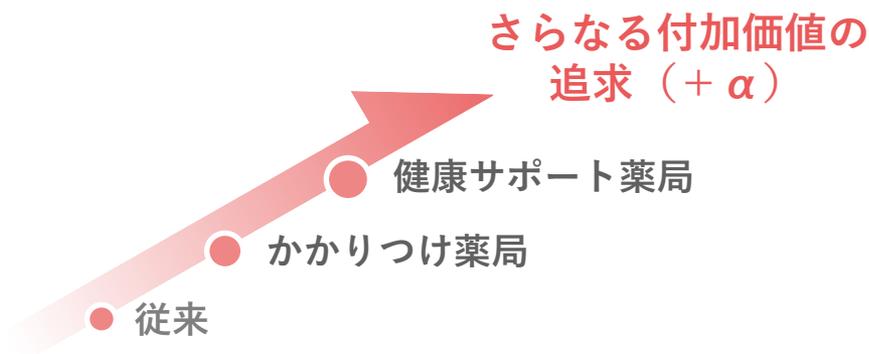
事業拡大と収益力の向上。調剤薬局の機能強化に向けた展開

① 収益力の向上

- ・新規出店等の事業拡大の推進
- ・効率化・機能強化（薬剤師教育、リスク対応強化など）

② 業態変化への取り組み

- ・立地から機能への転換



【2019年3月期目標】

売上高

360億円

営業利益率

2.5%

投資計画（累計）

15億円

16-18 中期経営計画

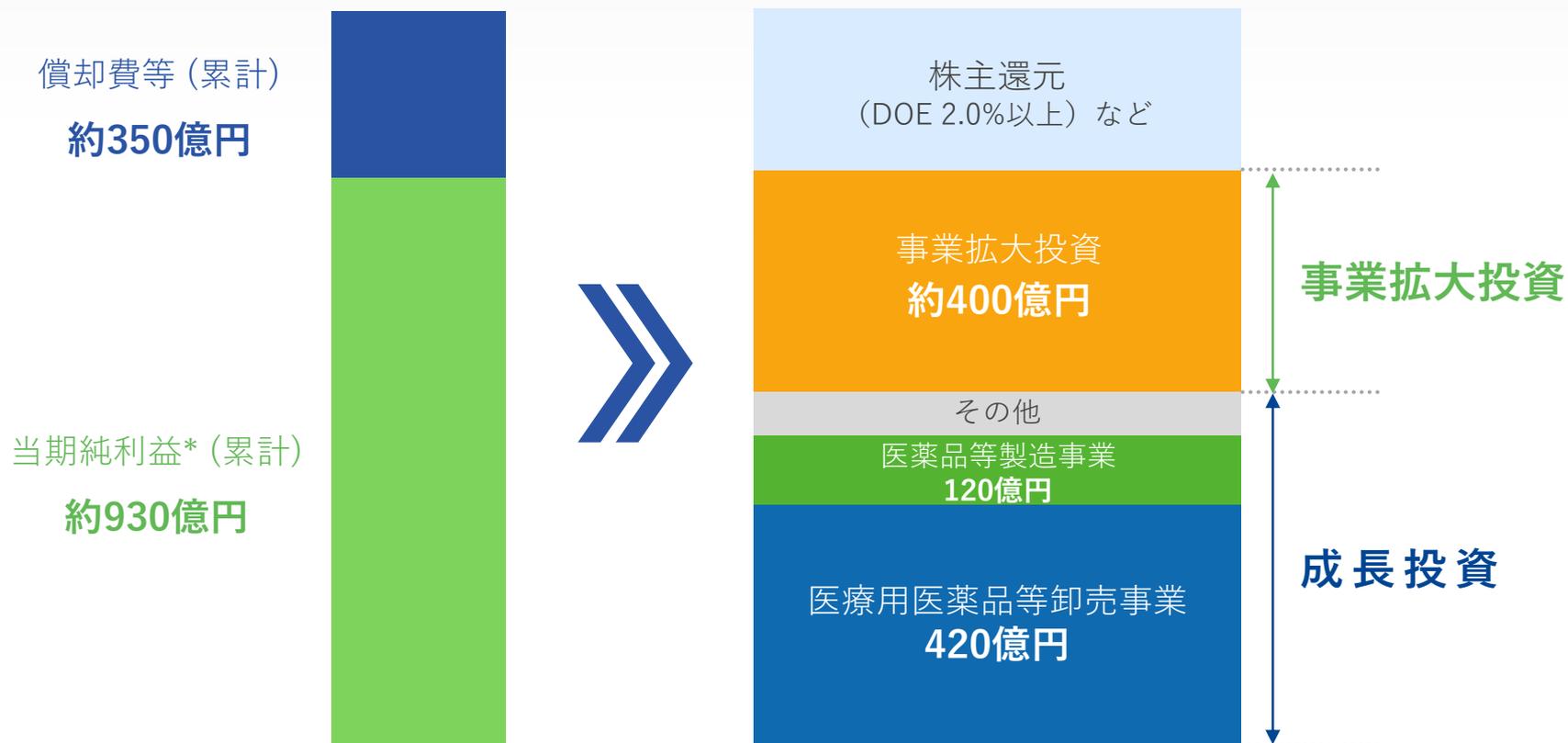
IV. グループ共通方針

- 投資計画
- ROE目標
- 株主還元
- 16-18 CSR活動方針
- アルフレッサグループの理念体系

■ 投資計画

投資計画

累計1,000億円規模



* 親会社株主に帰属する当期純利益

Alfresa Holdings Corporation

■ ROE目標

ROE

8%水準

前提条件

- 医薬品の安定供給責任
- 健全な財務基盤の維持
- コスト・費用のさらなる効率化
- 営業改革・物流改革
- 事業成長投資の継続

売上高当期純利益率*

- ・ 利益率の改善とコスト・費用の低減
- ・ 売上高当期純利益率1.2%以上目標

*親会社株主に帰属する当期純利益率

総資産回転率

- ・ 医薬品の安定供給責任
- ・ 営業改革・物流改革による効率化

(13 - 15中計実績) 2.03 - 2.12回

財務レバレッジ

- ・ 最適資本構成の追求

(13 - 15中計実績) 3.4-4.0倍

株主還元

株主還元方針

DOE 2.0%以上



※当社は2014年10月1日付で、普通株式1株につき4株の株式分割を実施しており、過去に遡って当該株式分割を反映した配当金を記載しております。

■ 16-18 CSR活動方針

社会から信頼される企業グループであり続けるために

ESG課題への取り組み

人権の尊重と 適正な労働環境整備

- 人権尊重とハラスメント防止
- 女性の活躍推進を含むダイバーシティの推進
- ワーク・ライフ・バランス推進（働き方改革）
- 健康増進の取り組み強化



地域社会との 共生・環境保全

- 積極的な社会貢献
- 環境保全の取り組み推進



組織ガバナンスの充実による 誠実な事業活動の遂行

- グループ理念の浸透と実践
- 内部統制、コンプライアンスの充実・強化
- リスクマネジメント強化



■ アルフレッサグループの理念体系

■ 私たちの思い

すべての人に、いきいきとした生活を創造しお届けします

■ 私たちのめざす姿

健康に関するあらゆる分野の商品・サービスを提供できる
ヘルスケアコンソーシアムをめざします

■ 私たちの約束

- 私たちは、常にお客様が満足を得られる安心できる商品・サービスを安定的に提供します
- 私たちは、安全で働きやすい職場環境の確保・向上に努め、一人ひとりの人格・個性を尊重し、健全な企業風土を創ります
- 私たちは、株主様の期待に応えるべく、健康に携わる企業グループとしての企業価値を高めます
- 私たちは、公正かつ透明で自由な競争による適正な取引を行います
- 私たちは、お客様・お取引先様などからお預りした個人情報および自社の重要情報についての保護に努めるとともに、広く社会との積極的なコミュニケーションを図り、適切な情報を適時に開示します
- 私たちは、事業活動を通じて社会に貢献するとともに、地域社会に対し積極的な社会貢献活動を行い、地球環境問題にも自主的・積極的に取り組みます

安心

安全

誠実

「将来見通し」に関する注意事項

当社が開示する情報の中には、当社の将来の見通しに関する事項が含まれている場合がありますが、歴史的事実以外のものは一定の前提で作成された見通しや戦略であり、こうした事項には一定のリスクや不確実性などが含まれており、様々な環境変化等により、実際の結果がこれら見通しと必ずしも一致するものではないことを予めご了承ください。

新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新する義務も方針も有していません。



アルフレッサ ホールディングス株式会社

〔問合せ先〕

アルフレッサ ホールディングス株式会社 財務企画部 広報IR室

TEL : 03-5219-5102 FAX : 03-5219-5103

E-mail : ir@alfresa.com